

3G伝送対応の新HDカメラシステムHXC-FB80 / HXCU-FB80を4式導入 鎌ヶ谷スタジアムからのプロ野球ファーム中継に本格稼働中



デジコン株式会社 様

インターネット動画配信分野の老舗として、コンテンツ制作の分野にもフィールドを拡大しているデジコン株式会社様は2018年3月にHDカメラシステムHXC-FB80/HXCU-FB80を4式、プロダクションビデオサーバーPWS-4500を1式導入され、スポーツ中継を中心に2018年3月より本格運用を開始されました。

同社 技術本部制作部長 山本善宣様、同部映像制作チーム 緑川雅彦様ならびに事業本部営業部 吉田成伸様に導入の目的や用途、採用の決め手、運用状況や成果、性能・機能・使い勝手についての評価などをお伺いしました。



技術本部制作部長
山本善宣様



技術本部制作部
緑川雅彦様



事業本部営業部
吉田成伸様

コストパフォーマンスが優れ、2/3インチレンズが使えるHXC-FB80を選択

当社は、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムで行われる北海道日本ハムファイターズ様のファーム中継業務（CSチャンネル「GAORA SPORTS」、インターネット配信「FIGHTERS FARM TV」）を、2018シーズンから受託しました。業務開始にあたり、ポータブルカメラHXC-FB80計4式を中心としたシステムを導入しました。

1年で約70試合の中継を予定していますが、当然ながら1試合あたりの予算には限りがあります。また同時に、球団様側から提示を受けた条件の中には40倍以上のズームレンズを備えたカメラ2式、スローやハイライト編集出しなどの要件が含まれていました。「40倍以上のズームレンズが装着できる」となると、現状としては2/3インチのイメージセンサーを備えたカメラ以外に選択肢はありません。そういった条件の中で、ソニーのHXC-FB80は、2/3インチレンズが装着できる上、コスト的な要求にも応えてくれる、我々が考える最適なソリューションでした。

コンパクトにシステムが構築できるHXC-FB80 / HXCU-FB80

今回導入したシステムは、20倍ズームレンズが付属するHXC-FB80Kを2式と、レンズなしのHXC-FB80Hを2式の計4式です。レンズなしモデルには、将来を見据えて4K対応の45倍ズームレンズを装着して運用しています。球団様側の提示条件の中に4台のうち2台は20倍ズーム以上という指定がありましたが、HXC-FB80Kの付属レンズが20倍ズームを備えていたので、高いコストパフォーマンスでのシステム構築ができました。

カメラコントロールユニット（CCU）については、各種の設定用などにハードウェアタイプのコントロールパネルRCP-1501を1台と、1つの画面で最大5台のカメラの操作が行えるソフトウェアHZC-RCP5（Windows用アプリケーションソフト）を導入しており、こちらはタッチパネルPCで運用しています。事前のカメラ調整ではRCP-1501を切り替えながら使用し、中継中のアイリス操作などは、VEさんがRCP-1501とCCUのフロントパネルで操作しています。



今回導入したシステムは、スペースが限られたスタジアムの調整室、またシーズンオフ中の他の用途を考慮して、可搬型ラックを用いています。スペース節約の面で、HXCUI-FB80前面のコントロールパネルやWindowsアプリケーションのコントロールソフトは、とても助かりました。CCU前面パネルでの操作は若干の不便さがありますが、VEさんが上手にカバーしてくれています。



上位機種と変わらない運用性と遜色のない画質を実現



HXC-FB80 / HXCUI-FB80では、上位機種HDCシリーズと共通で、業界で標準的に使われているコントロールパネルRCP-1501が使えたため、慣れているVEさんが多く、操作の共通性を図ることができました。これまでも当社では、レンタルで4K対応マルチフォーマットポータブルカメラHDC-4300などを使ってきましたが、カメラ本体についても操作性がHDCシリーズと変わらないのが魅力です。重量や大きさの面では、HXCシリーズはさらにコンパクトで軽量なため、運搬や設営の際に助かっています。付属の20倍ズームレンズについては、フォーカスリングが軽めの作りなので、スポーツ中継に向いているとカメラマンからも好評です。重要な画質についても、HD運用においては上位のHDCシリーズと比べて遜色なく、大変満足しています。

PWS-4400の運用実績を受けて、迷わずPWS-4500を選択

当社は、ラージセンサーカメラPWM-F55を中心とした「4Kista! (フォーキスタ!)」という車載型4K映像制作システムを提供しています。そのシステムの中でPWS-4400を運用してきました。業界内では、海外メーカー製のプロダクションビデオサーバーも広く使われていますが、ほとんど変わらない使い勝手であることはオペレーターからもフィードバックを受けておりましたし、それらと比べてPWS-4400/4500は大幅にコンパクトで軽量であるため、運用への負担が少なくなると感じました。さらにソニーはバージョンアップに積極的で、PWSシリーズに力を入れていることも知っておりましたので、その実績と信頼感から、迷わずPWS-4500を選びました。今回はPWS-4500をHD時6in/2outの仕様とし、ハイライト編集機能などを行えるプロダクションコントロールステーションPWS-110PR1とUSBコントロールデバイス（コントロールパネル）PWSK-4403を合わせて導入しました。4台のカメラとプログラムアウト計5系統を同時に収録し、スロー出しやハイライト編集用に使っています。前シーズンまでのインターネット配信では、CS放送とサイマルになる試合のみスローとハイライトが入っていましたが、今シーズンからは全試合で使えるようになりましたので、インターネット経由の視聴者満足度にも貢献できていると思います。



4Kにも対応したシステム構成、野球以外のスポーツにも活用へ

HXC-FB80 / HXCUI-FB80は4Kアップコンバート出力やHLG_LiveモードによるHD HDRに対応していることもあり、ビデオモニター以外の一通りのシステムを、将来を見据えて4K対応機器で構築しました。今はまだ具体的ではありませんが、今後4KやHDRのライブ中継にも活用できればと考えています。システムの導入から1ヵ月間、約20試合の運用をしてきましたが、トラブルなども一切なく安定して稼働しています。当社ではバスケットボールの4K中継なども手掛けていましたが、野球のシーズンオフには、他のスポーツ中継でも本システムを幅広く運用していきたいと思っています。

ソフトウェアタイプのコントロールパネルのように、ソニーには今後も新しい発想によるアプローチの提案や、引き続きバージョンアップによるPWSシリーズの機能追加なども期待しています。

デジコン株式会社

1995年に創業したインターネット動画配信サービス専門会社。インターネット動画配信を黎明期からいち早く手がけ、これまで在京地上波キー局のインターネット向けオンデマンド番組配信サービスやライブ配信サービス、コンテンツのトランスコードサービスなどを通じて事業を拡大。2015年には4Kista!(R)サービスを開始し、現在、コンテンツの企画から撮影、配信までワンストップで行い、インターネット動画配信の総合サービスを提供しています。

<http://www.digi-c.co.jp/>

システムカメラの商品情報やお客さま事例をご覧ください。
sony.jp/system-camera/

ソニービジネスソリューション株式会社 / 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

購入に関するお問い合わせ

業務用商品購入相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-580-730

●受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ (使い方、故障診断など)

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは050-3754-9550

●受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

※記載されている各社名、および各商品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

2018年5月現在